

共通問題

問 1. 表面解剖と深部解剖の組み合わせで正しいのはどれか. 2 つ選べ.

- a. 遠位指節間皮線————A5 pulley
- b. 近位指節間皮線————A4 pulley
- c. 手掌指皮線————A1 pulley
- d. 遠位手首皮線————有鉤骨鉤
- e. 嗅ぎたばこ窩尺側縁————長母指伸筋腱

問 1	
-----	--

問 2. 伸筋腱区画と通過する伸筋腱の組み合わせで誤っているのはどれか.

- a. 第 1 区画————長母指外転筋腱
- b. 第 2 区画————短母指伸筋腱
- c. 第 3 区画————長母指伸筋腱
- d. 第 4 区画————固有示指伸筋腱
- e. 第 5 区画————小指伸筋腱
- f. 第 6 区画————尺側手根伸筋腱

問 2	
-----	--

問 3. MP 関節の他動伸展障害を伴わない自動伸展障害の原因として正しいのはどれか.
2 つ選べ.

- a. Dupuytren 拘縮
- b. 関節掌側板損傷
- c. 屈筋腱腱鞘断裂
- d. 後骨間神経麻痺
- e. 伸筋腱脱臼

問 4	
-----	--

問 4. Z 形成術の効果で誤っているのはどれか.

- a. 位置の変換
- b. 凹凸の変換
- c. 距離の延長
- d. 直線の分断
- e. 縫合時創縁の減張

問 4	
-----	--

問 5. 手術時の医原性損傷に注意すべき組み合わせで正しいのはどれか. すべて選べ.

- a. 尺骨茎状突起骨折 ————— 尺骨神経手背枝
- b. 肘部管症候群 ————— 内側前腕皮神経
- c. 橈骨骨幹部骨折 ————— 前骨間神経
- d. 母指 MP 関節尺側側副靱帯損傷 ————— 橈骨神経浅枝
- e. 母指ばね指 ————— 尺側指神経

問 5	
-----	--

問 6. 舟状月状骨解離について正しいのはどれか. 3 つ選べ.

- a. Watson の scaphoid shift test が診断に有用である.
- b. 単純 X 線正面像にて舟状骨の ring sign を認める.
- c. 単純 X 線側面像にて DISI 変形を認める.
- d. 小児では proximal row carpectomy が適応となる.
- e. 新鮮例は STT 関節固定術の適応である.

問 6	
-----	--

問 7. 背側月状骨周囲脱臼で最初に断裂する靱帯はどれか.

- a. 弓状靱帯
- b. 月状三角骨靱帯
- c. 尺骨月状骨靱帯
- d. 舟状月状骨靱帯
- e. 橈骨月状骨靱帯

問 7	
-----	--

問 8. 手指伸筋腱脱臼について正しいのはどれか。すべて選べ。

- a. 中指に最も多い。
- b. 橈側脱臼が多い。
- c. congenital type では保存療法が第一選択となる。
- d. degenerative type の主な原因疾患は関節リウマチである。
- e. spontaneous type の多くは単指罹患である。
- f. traumatic type は軽微な外傷で発症する。

問 8	
-----	--

問 9. Bennett 骨折について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 直達外力で生じやすい。
- b. 近位骨片には anterior oblique ligament が付着している。
- c. 中手骨は橈側，近位，背側に転位する。
- d. 長母指屈筋が骨折部の転位の原因である。
- e. 観血的整復内固定術は，経皮鋼線固定術よりも成績は良い。

問 9	
-----	--

問 10. 屈筋腱皮下断裂の原因になりやすいのはどれか。すべて選べ。

- a. carpal boss
- b. 舟状骨偽関節
- c. 橈骨遠位端骨折
- d. 変形性遠位橈尺関節症
- e. 有鉤骨鉤骨折

問 10	
------	--

問 11. Quadriga 現象の原因として誤っているのはどれか。

- a. FDP 腱損傷再建時の長すぎる移植腱
- b. PIP 関節内骨折後の PIP 関節伸展位強直
- c. zone 1 での FDP 腱損傷断端縫着時の過度の前進
- d. 断端形成時の深指屈筋（FDP）腱と伸筋腱との縫合処理
- e. 中節骨レベル指切断後の FDP 腱と基節骨の癒着

問 11	
------	--

問 12. 伸筋腱 zone (Kleinert and Verdan 分類) と損傷の組み合わせで正しいのはどれか。
すべて選べ。

- a. zone 1—————腱性槌指
- b. zone 3—————ボタン穴変形
- c. zone 4—————スワンネック変形
- d. zone 5—————総指伸筋腱脱臼
- e. zone 7—————尺側手根伸筋腱脱臼

問 12	
------	--

問 13. 尺骨神経管 (Guyon 管) 症候群について誤っているのはどれか。

- a. ガングリオンによるものが多い。
- b. 有鉤骨鉤骨折に伴うことがある。
- c. 手背の感覚障害を伴うことが多い。
- d. 小指の感覚障害を伴わないことがある。
- e. 小指球筋の萎縮を伴わないことがある。

問 13	
------	--

問 14. 肘部における絞扼性正中神経障害 (広義の回内筋症候群) について誤っているのはどれか。

- a. Struthers 靱帯が原因となる。
- b. 浅指屈筋が原因となる。
- c. 抵抗性前腕回外運動での症状増悪は上腕二頭筋腱の関与を疑う。
- d. 確定診断には神経伝導速度検査が有用である。
- e. 手掌の知覚障害は手根管症候群との鑑別に有用である。

問 14	
------	--

問 15. 後骨間神経障害と関連のないのはどれか。

- a. Monteggia 脱臼骨折
- b. Parsonage-Turner 症候群
- c. 短橈側手根伸筋麻痺
- d. 橈骨神経管症候群
- e. 肘関節鏡

問 15	
------	--

問 16. 内在筋を力源とする母指対立再建手術はどれか.

- a. Camitz 法
- b. Enna 法
- c. Hüber-Littler 法
- d. Neviaser 法
- e. Riordan 法

問 16	
------	--

問 17. 橈骨神経浅枝圧迫症候群（Chairalgia paresthetica）について誤っているのはどれか.

- a. Wartenberg 病ともいう.
- b. 前腕遠位での橈骨神経浅枝障害である.
- c. 手関節橈屈により症状が誘発される.
- d. de Quervain 病との鑑別が必要である.
- e. ギプス固定後の合併症の一つである.

問 17	
------	--

問 18. 針筋電図検査で高位正中神経障害と手根管症候群の鑑別に有用な筋はどれか.
すべて選べ.

- a. 第 2 虫様筋
- b. 短母指屈筋
- c. 長母指屈筋
- d. 方形回内筋
- e. 母指内転筋

問 18	
------	--

問 19. 35 歳の男性, 3 年前に交通事故にて右腕神経叢（C5・6・7）引き抜き損傷を受傷した.
今まで右上肢機能再建術は受けていない. この患者の肘屈曲再建として適応となる
術式はどれか. 2 つ選べ.

- a. Steindler 変法
- b. 血管柄付き遊離薄筋移植術
- c. 同側からの血管柄付き遊離広背筋移植術
- d. 有茎広背筋移行術
- e. 有茎大胸筋移行術（Clark 法）

問 19	
------	--

問 20. Raynaud 症状の改善が期待できない薬剤はどれか.

- a. A 型ボツリヌス毒素 (商品名: ボトックス)
- b. β 遮断薬
- c. カルシウム拮抗薬
- d. シルデナフィル (商品名: バイアグラ)
- e. プラゾシン (商品名: ミニプレス)

問 20	
------	--

問 21. 母指多指症について正しいのはどれか. すべて選べ.

- a. Wassel 分類では II 型が最も多い.
- b. Wassel 分類 V 型は基節骨レベルで分岐する.
- c. 初回手術時期は生後 6 か月以内が推奨される.
- d. Wassel 分類 II 型では Bilhaut-Cloquet 法の適応がある.
- e. 関節面のアライメント異常による角状変形は, 楔状骨切り術によって矯正する.

問 21	
------	--

問 22. 母指 CM 関節症について正しいのはどれか. 2 つ選べ.

- a. 男性に多い.
- b. 単純 X 線では前腕過回内位正面撮影 (Robert 法) が有用である.
- c. 変形が進むと MP 関節は屈曲位になる.
- d. 変形が進むと母指内転拘縮をきたす.
- e. Eaton-Littler 法は APL 半裁腱を用いる.

問 22	
------	--

問 23. 手の変形性関節症に対する治療法の組み合わせで正しいのはどれか. すべて選べ.

- a. Bouchard 結節————人工関節置換術
- b. 母指 CM 関節症 (Eaton 分類 stage IV)————CM 関節固定術
- c. SLAC (scapholunate advanced collapse) wrist————橈骨月状関節固定術
- d. SNAC (scaphoid nonunion advanced collapse) wrist————舟状骨偽関節手術
- e. 変形性遠位橈尺関節症————Sauve-Kapandji 法

問 23	
------	--

問 24. 化膿性屈筋腱腱鞘炎における Kanavel 徴候に含まれるのはどれか。すべて選べ。

- a. 発赤
- b. 自動屈曲不能
- c. 指軽度屈曲位
- d. 腱鞘に沿った圧痛
- e. 腱鞘に沿ったびまん性腫脹

問 24	
------	--

問 25. 感染性屈筋腱腱鞘炎について正しいのはどれか。3 つ選べ。

- a. 示指では手掌中央腔膿瘍に発展する。
- b. *Mycobacterium marinum* の至適培養温度は約 30℃である。
- c. 米粒体を腱鞘内に認める場合は結核性を疑う。
- d. 犬猫咬傷の場合はセフェム系抗生剤が著効する。
- e. 非結核性抗酸菌感染症では滑膜切除を行う。

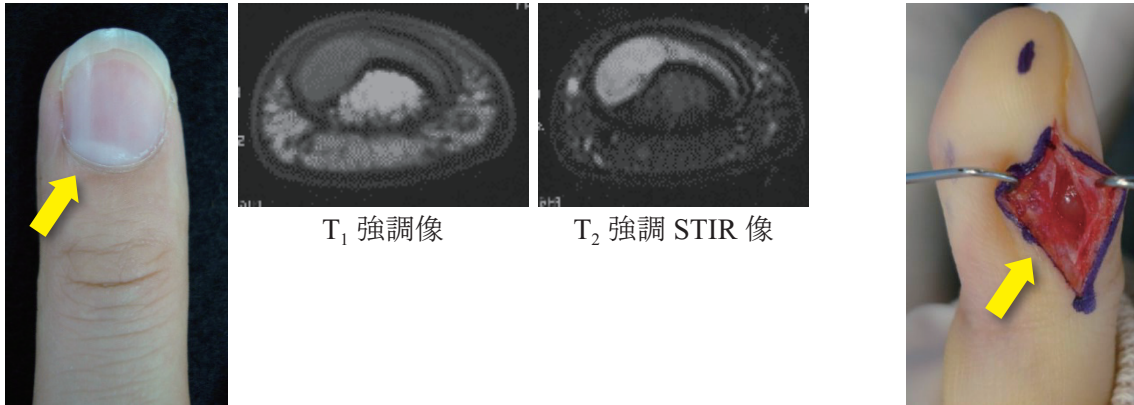
問 25	
------	--

問 26. 関節リウマチによる手指 MP 関節尺側偏位矯正手術で正しいのはどれか。3 つ選べ。

- a. 尺骨遠位端切除術
- b. 伸筋腱の centralization
- c. 伸筋腱の基節骨底部への縫着術
- d. 人工関節置換術
- e. 側索の中央索への腱移行術

問 26	
------	--

問 27. 32 歳の女性，8 年前から誘因なく左中指先端部の間欠痛を自覚した．初診時写真，MRI，術中写真を示す．この疾患で正しいのはどれか．2 つ選べ．



- a. 60 歳以上の発症が多い．
- b. 手指以外の発生は 1%以下である．
- c. 寒冷過敏性を伴うことが多い．
- d. 免疫組織化学染色では α -SMA（ α -平滑筋アクチン）陽性例が多い．
- e. 摘出後の再発率は 1%以下である．

問 27

問 28. Ollier 病について誤っているのはどれか．

- a. 常染色体優性遺伝を呈する．
- b. 変異型 IDH (isocitrate dehydrogenase) 遺伝子がみられる．
- c. 悪性化率は約 30%である．
- d. 悪性化すると軟骨肉腫になる．
- e. 軟部組織に血管腫を併発すると Maffucci 症候群といわれる．

問 28

問 29. Dupuytren 拘縮について正しいのはどれか．2 つ選べ．

- a. III型コラーゲンが出現する．
- b. 筋線維芽細胞の増殖がみられる．
- c. central palmar cord が神経血管束正中偏位の主たる原因である．
- d. コラゲナーゼ注射療法の 1 年後再発率は約 40%である．
- e. 小指 PIP 関節拘縮の治療成績が最も良好である．

問 29

問 30. intrinsic tightness test が陽性となる原因はどれか。すべて選べ。

- a. 鉤爪指
- b. 骨間筋内血腫
- c. 長期の PIP 関節伸展位固定
- d. 陳旧性槌指
- e. ボタン穴変形

問 30	
------	--

問 31. Darrach 法（尺骨遠位端切除術）について誤っているのはどれか。

- a. TFCC が破綻していても適応がある。
- b. 関節リウマチによる手関節破壊病変に適応がある。
- c. 高齢者の橈骨遠位端骨折変形治癒に適応がある。
- d. 尺骨はなるべく近位で骨切りする。
- e. 術後合併症として橈尺骨間のインピンジメントが生じる。

問 31	
------	--

問 32. 遠位橈尺関節について誤っているのはどれか。

- a. Essex-Lopresti 脱臼骨折では長軸脱臼となる。
- b. 尺骨頭の安定性には小指伸筋が関与する。
- c. 尺骨茎状突起基部骨折は不安定性をきたしやすい。
- d. 橈骨尺側切痕の形状が浅いと不安定になりやすい。
- e. 変形性関節症により伸筋腱皮下断裂が生じる。

問 32	
------	--

問 33. DIP 関節に発生しやすい疾患はどれか。2 つ選べ。

- a. Bouchard 結節
- b. Heberden 結節
- c. 乾癬性関節炎
- d. 痛風結節
- e. リウマチ結節

問 33	
------	--

問 34. 電撃傷について誤っているのはどれか。

- a. 上肢の受傷が多い。
- b. 末梢神経が損傷されやすい。
- c. 皮膚の損傷程度で重症度を判定する。
- d. 尿中ミオグロビンを測定する。
- e. 壊死組織の debridement を行う。

問 34	
------	--

問 35. 皮弁の循環障害について誤っているのはどれか。

- a. 静脈血栓では色調変化が中央部分から出現する。
- b. 静脈血栓では皮膚が暗紫色に変化する。
- c. 動脈血栓では皮膚温が低下する。
- d. 動脈血栓では皮膚の張りがなくなる。
- e. 動脈血栓では pin prick test で出血を認めない。

問 35	
------	--

問 36. マイクロサージャリーについて正しい組合せはどれか。すべて選べ。

- a. 上腕の開放骨折（Gustilo 分類 type III c）—— 静脈移植による上腕動脈再建
- b. 手背の骨や腱の露出を伴う皮膚欠損創 —— 遊離側頭筋膜弁
- c. 遊離皮弁移植の血管吻合 —— 皮弁の仮固定前
- d. 遊離皮弁移植後の動脈血栓 —— 動脈再吻合
- e. 遊離皮弁移植後の皮弁うっ血 —— 医療用ヒルによる瀉血

問 36	
------	--

問 37. 一期的に再建できる有茎皮弁の範囲について誤っているのはどれか。

- a. 外側上腕皮弁 —— 前腕部近位
- b. 後骨間皮弁 —— 第 1 指間
- c. 広背筋皮弁 —— 手関節
- d. 前腕皮弁 —— 肘頭
- e. 指動脈皮弁 —— 指尖部

問 37	
------	--

問 38. 微小血管吻合手技について誤っているのはどれか.

- a. 近位血管断端より血流があることを確認する.
- b. 血管内腔に入り込まないように外膜を切除する.
- c. 縫合針は動脈では壁内に、静脈では壁の全層にかける.
- d. 縫合糸間の距離が等しくなるように縫合する.
- e. 外膜以外の組織（内膜，中膜）は攝子で摘まない.

問 38	
------	--

問 39. 静的装具はどれか. 2 つ選べ.

- a. cock-up splint
- b. knuckle bender
- c. Oppenheimer 装具
- d. Thomas 懸垂装具
- e. 短対立装具

問 39	
------	--

問 40. 医療安全について正しいのはどれか. すべて選べ.

- a. WHO の提唱する安全な手術の目標には手術標本の管理が含まれる.
- b. 患者識別には「マーキング」が最も重要である.
- c. 手術チームメンバーは手術前に予定術式を確認する.
- d. 手術安全チェックリストを運用しても死亡率は変わらない.
- e. 周術期有害事象の軽減に手術部位感染予防バンドルの実施が重要である.

問 40	
------	--

選択問題

以下、**整形外科分野問題（問 41-44）**、もしくは
形成外科分野問題（問 45-48）のいずれか 4 問
を一括選択し解答すること。

整形外科分野問題

選択時は必ずマークシート上で **A** 整形問題
の **A** 部分を塗りつぶすこと

問 41. 手根骨長軸脱臼について正しいのはどれか。3 つ選べ。

- a. 過伸展損傷により生じる。
- b. 主に橈側型と尺側型に分類される。
- c. 横手根靭帯損傷はまれである。
- d. 月状骨損傷はまれである。
- e. 重度の軟部組織損傷を合併する。

問 41	
------	--

問 42. 次のうち正しいのはどれか。3 つ選べ。

- a. 鉤状突起の先端には上腕筋が付着する。
- b. 鉤状結節骨折は後内側回旋不安定性の原因となる。
- c. 近位橈尺関節面における橈骨頭の“safe zone”は約 60° である。
- d. 鉤状突起骨折、橈骨頭骨折、肘関節脱臼の合併を“terrible triad”と呼ぶ。
- e. 鉤状結節の展開には flexor carpi ulnaris splitting approach がある。

問 42	
------	--

問 43. 小児橈骨骨幹部骨折について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 捻転力が加わると近位で骨折する。
- b. 近位 1/3 の骨折では近位骨片は回内する。
- c. 中央部から遠位の骨折では近位骨片は回外する。
- d. 遠位 1/3 の骨折は整復後も転位しやすい。
- e. 整復位保持のために前腕回内位でギプス固定を行う。

問 43	
------	--

問 44. 関節鏡視と鏡視部位の組み合わせで正しいのはどれか。すべて選べ。

- a. 遠位橈尺関節鏡—————尺骨小窩
- b. 遠位橈尺関節鏡—————月状三角骨靱帯
- c. 橈骨手根関節鏡—————舟状月状骨靱帯
- d. 手根中央関節鏡—————有鉤骨鉤
- e. 手根中央関節鏡—————尺骨三角靱帯

問 44	
------	--

形成外科分野問題

選択時は必ずマークシート上で **(B)** 形成問題
の **(B)** 部分を塗りつぶすこと

問 45. 分類と疾患の組み合わせで誤っているのはどれか.

- a. 横軸形成異常——合短指症
- b. 分化障害——橈尺骨癒合症
- c. 重複——三指節母指
- d. 指列誘導障害——母指多指症
- e. 過成長——巨指症

問 45	
------	--

問 46. 合指症分離手術の原則について正しいのはどれか. 3 つ選べ.

- a. 手術は生後 1 歳前後に行う.
- b. 合指部はジグザグ切開を選択する.
- c. 指間は皮弁を用いて被覆する.
- d. 指間の側面に生じる欠損は分層植皮で被覆する.
- e. 隣接する指間に合指がある場合は一期的に分離する.

問 46	
------	--

問 47. 特殊創と初期対応の組み合わせで正しいのはどれか. すべて選べ.

- a. 高圧注入創——切開創一次縫合
- b. 受傷早期の凍傷——復温処置
- c. 電撃傷による手の色調不良——減張（筋膜）切開
- d. ネコ咬傷——切開・開放
- e. フッ化水素酸による化学熱傷——カルシウムグルコネート中和

問 47	
------	--

問 48. 熱傷の初期治療について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 減張切開の必要性を判断する。
- b. 水治療法には蒸留水を使用する。
- c. 手掌部には **tangential excision** を行う。
- d. 乳幼児では創面被覆材による密封を基本とする。
- e. 鉤爪変形の防止にシーネを装着する。

問 48	
------	--